

# 【成長戦略課題】洋ラン類における光量・光質の制御による安定生産技術の確立(R8~10)

総合農業技術センター

## 背景・目的

- 本県は全国有数の洋ラン産地であり、良質な鉢花が生産されてきたが、近年の酷暑傾向の中で品質維持が困難な状況である。
- シンビジウムでは山上げ地においても気温が上昇し、高温障害である花飛び症状等による商品化率の低下が問題となっており、コチョウランではハウスの夏期高温抑制のための強遮光による花数の減少等が問題となっている。

### 【本研究の目的】

#### シンビジウム 花飛びの抑制、花茎数の確保

- ①開花株(3年目株)充実のための、幼苗時のLED照射方法の検討
- ②山上げ地における良好な生育環境確保のための、資材(高透光・遮熱ネット)の選定

#### コチョウラン 花数減少の品質低下防止

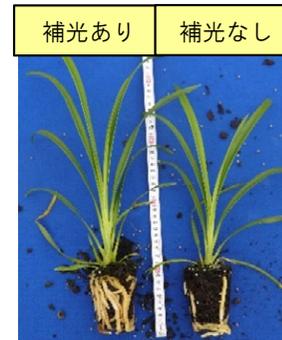
- ③良好な生育環境確保のための資材(高透光・遮熱ネット)の選定(夏期のハウス内)

シンビジウム山上げ栽培スケジュール



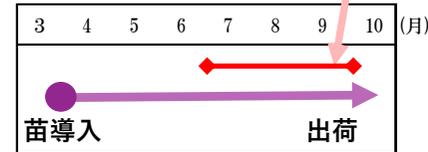
LED補光による健苗育成

高透光・遮熱ネットの活用による光量確保と太陽光の熱線カット



(予備試験結果)

コチョウラン栽培スケジュール



※月に2~4回程度苗を導入し  
周年出荷

※高透光・遮熱ネット  
光量確保と昇温抑制の両機能をもつ  
新タイプの遮光ネット

最適なネットは?

## 研究内容

### 1年目

1 シンビジウム栽培1年目のLED補光が株の生育と、出荷年の花の品質に及ぼす影響の確認

- LED照射条件の検討
- ・照射時間帯、照射時間等

2 シンビジウムの山上げ地での各種高透光・遮熱ネットの利用が花の品質に及ぼす影響の確認

- ・高透光・遮熱ネットの種類(赤外線吸収型・反射型等)や透光・遮熱程度の違いによる影響を調査

### 2年目

・生育状況の継続調査

3 コチョウラン栽培における高温期の各種高透光・遮熱ネットの利用が生育・品質に及ぼす影響の確認

- ・(2に同じ)

### 3年目

・出荷年の生育状況・花の品質の確認

## 期待される効果

○LED補光や高透光・遮熱ネットの活用により、良好な生育環境が確保され、安定生産が可能となり、経営改善につながる。

➢ シンビジウム 花飛び抑制や花茎数確保による廃棄ロス削減  
[現状:ロス率:15~20% ⇒ 5%程度に改善]

➢ コチョウラン 年間を通じた花数(1株あたり)の確保  
[現状:秋出し株では2輪程度少ない ⇒ +2輪]  
※販売単価の向上へ(2輪増加により +2,000円/株)

○洋ラン産地の維持・発展 栽培面積10.2ha  
生産額14.3億円【生産額実績R5】